

環境・社会貢献関連のSR会計を導入し、コストを把握しています。

「効果」の定量評価が課題

イオンモールでは2002年度よりSR (Social Responsibility) 会計を導入し、環境保全活動や社会貢献活動のコストの定量的な把握に努め、CSR経営の指標のひとつとしてきました。2007年度は、年度途中の合併により、会計基準が一本化されていなかったこと、モールのメンテナンス企業との委託内容が異なるなどの事情があり、昨年との単純比較はできませんが、傾向を把握するために算出しました。

2007年度の投資額は前年より4億6,160万円減の10億2,183万円となりました。

2006年度はガスコージェネレーションへの設備投資が大きかったこと、また、氷蓄熱システムについて、2007年度は電力会社の資産として経理処理を行ったことが投資額減少の大きな要因です。

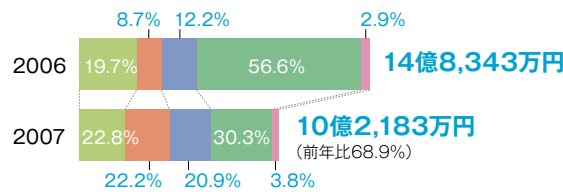
費用は、前年の約2倍の37億6,996万円でした。モール数の増加で廃棄物関係が前年の3倍に増加。公害防止・環境法令順守関連の費用とあわせて全体の8割を占めています。

今後は、投資効果および技術開発動向を把握・検証しながら、高効率の省エネ設備の導入や自然エネルギーの導入検討を行い、省エネ・省コストを図っていきます。

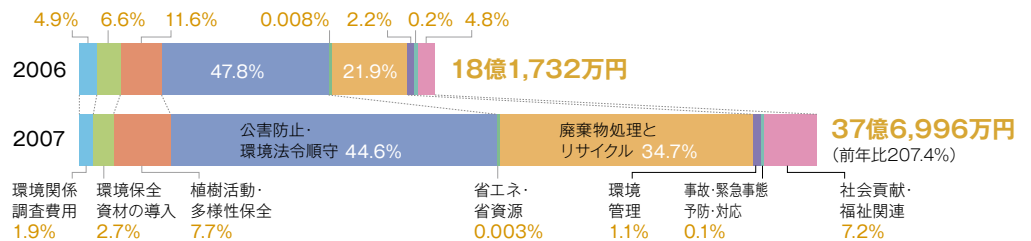
環境保全コストの主な内訳

	投資			費用			(単位:万円)
	2006	2007	前年比	2006	2007	前年比	
環境関係調査費用	-	-	-	8,934.4	7,115.2	79.6%	大店立地法のための調査、交通量調査等
環境保全資材の導入	29,188.5	23,348.6	80.0%	12,002.2	10,327.6	86.0%	投資/リサイクル建築資材など費用/エコ消火器、再生OA用紙など
植樹活動・多様性保全	12,859.5	22,673.7	176.3%	21,090.9	29,192.6	138.4%	投資/植樹祭、屋上・壁面緑化費用/青樹祭、植栽管理等
公害防止・環境法令順守	18,163.0	21,377.6	117.7%	86,940.6	168,183.3	193.4%	投資/厨房除害施設、浄化槽中水利用費用/大気汚染防止、水質汚濁防止
省エネ・省資源	83,802.8	30,913.2	36.9%	16.0	11.2	70.0%	投資/LEDサイン、太陽光発電ほか費用/文具リユース、節水機器導入
廃棄物処理とリサイクル	-	-	-	39,750.1	130,822.0	329.1%	廃棄物処理・管理費用
環境管理	-	-	-	3,925.7	4,106.2	104.6%	ISO推進、事務局運営、情報発信
事故・緊急事態予防・対応	-	-	-	386.4	228.9	59.2%	地下タンク検査、オイル吸着マットなど
社会貢献・福祉関連	4,328.7	3,870.0	89.4%	8,686.0	27,008.7	310.9%	投資/身障者用駐車場、バルーンシェルター費用/イオン1%クラブ拠出金ほか
計	148,342.5	102,183.1	68.9%	181,732.3	376,995.7	207.4%	

投資額 償却資産への設備投資のうち、環境保全目的の支出。効果は長期に及ぶ。



費用額 当期の環境保全対策として発生した額。原則として1年間のみ。



期間: 2007年2月21日~2008年2月20日(2007年2月21日から2007年8月20日までの旧ダイヤモンドシティの金額は計上していません)
 対象: イオンモール(株) ISO14001適用範囲内とする

- ①複合コスト...環境目的以外のコストと結合している場合についても、原則として全額計上しています。
- ②人件費...イオンモール従業員の人件費は原則として計上していません。ただし、「モール施設メンテナンス」、「モールでの廃棄物処理とリサイクル」は人件費を計上しています。
- ③投資...中に発生した環境負荷低減の関連機器および施設への投資額で計上しています。(リース契約の場合は、費用に計上) 導入後、移管もしくは変動したものが導入時の金額が判明している場合は投資として計上しています。